

# 環境教育「まず、今できることから」

## 歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会  
 編集者：代表幹事 高橋 賢一  
 連絡先：市民活動支援センター  
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7  
 (渋川福祉センター内)  
 TEL 0561-51-2878



二〇一二年(平成23年)三月十一日、東北地方太平洋沖地震が、三陸沖を震源として発生し、東日本大震災を引き起こしました。そのため東北から関東にかけての東日本一帯に甚大な被害をもたらしました。  
 さらに地震に伴い巨大な津波が発生しました。  
 私たちを何よりも驚かしたのは、自然の暴威とは、いかに巨大なものか、いったん巨大な津波に一線堤である海岸堤防などが破壊されれば、ほとんど災害から逃れられ

自然に学ぶ  
 自然をいかす  
 治水の知恵  
 いま、矢田川の上流  
 が変りはじめた。

▲散歩道が26年中に仕上げつ完成に近づく。

うねないという実態で、自然現象の規模には際限がないと、いふことですが、近年では、気候変動のせいで、全国の河川で計画高水流量を簡単に超えてしまつ、洪水が頻発しています。このための氾濫被害が絶えません。しかし、防御施設がある堤防は所定の計画に定めた高さの堤防までしか造りません。



▲矢田川上流の改修工事



### 川虫

いのちのはじまり

釣り少年には、おなじみの川虫。ほとんど魚や鳥のエサになるために生まれてきたものの、やうな水生昆虫だ、かじつは彼らは森と海をつなぐ重要な役割を果たしてゐる。どうして水と石ころしかないと、それほど川虫がいるのか、ちまつてミステリアスに思はれます。まず、川とは水が常に流れている地形のこと。それは山に降る雨が一旦池中に浸み込んだ後、山腹の崖に滴り落ちて現れるところから始まる。この滴は限りなく繰り返さず、



▲本郷橋の改修工事



▲矢田川上流右岸工事